

各関係機関団体の長 }
各病虫害防除員 } 殿

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 5 年度病虫害発生予察特殊報第 1 号について

このことについて、下記のとおり発表したので送付します。

特殊報第 1 号

1. 害虫名 サカキブチヒメヨコバイ
学名: *Stictotettix cleyarae*

2. 発生作物 サカキ

3. 発生の経過と概要

県北部のサカキ生産地において、数年前から葉にかすり状の白い斑点（写真 1）が発生しており、近年被害が増加して問題となっていた。

令和 5 年 4 月に生産地から採集した個体について、九州大学でサカキブチヒメヨコバイと同一と判定された（写真 2）。

4. 国内での発生状況

和歌山県、高知県、佐賀県、宮崎県、鹿児島県等で発生が確認されている。

5. 発生生態と被害状況

(1) 発生生態

成虫の体色は茶褐色で、体長は概ね 4mm 程度である。不完全変態で、孵化後 5 回脱皮して成虫となる。和歌山県林業試験場が実施した生態調査では、孵化から成虫になるまでの期間は概ね 3~4 週間で、1 年に 3~4 回世代を繰り返すとされている。

生息密度は低く、単独で生息する。

(2) 被害状況

成幼虫とも葉裏に寄生し、葉を吸汁加害する。吸汁痕は白く変色し、白点化する。生育条件が良ければ 1 頭でも短期間で激しく加害する。

6. 防除対策

(1) 間伐、整枝等

暗く風通しが悪いとヨコバイ類が繁殖しやすくなるため、不用木の間伐や重なり合う枝葉の整枝に努める。

(2) 発生消長の把握

防除適期は幼虫期であり、時期は年度、地域によって異なる。幼虫期を予測し適期防除を行うため、黄色粘着トラップ等を設置し、発生消長の把握に努める。

(3) 薬剤防除

令和5年4月27日時点で、サカキにおけるサカキブチヒメヨコバイに対して登録のある農薬は、ダイリーグ粒剤、スミチオン乳剤、アグロスリン乳剤の3剤である（登録農薬は、農林水産省の農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/> 等を参照）。



写真1 かすり状の白い斑点が多発した葉



写真2 サカキブチヒメヨコバイの雌成虫

病虫害防除所のホームページでは、各種病虫害の発生状況を随時更新しています。

発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

○福岡県病虫害防除所のホームページへのアクセス

URL: <https://www.jppn.ne.jp/fukuoka/> または右QRコード①



○Twitter（ツイッター）で定期情報や警報等発出のお知らせを始めました。

Twitterの本アカウント（福岡県農作物病虫害情報）へのアクセス

URL: https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード

